

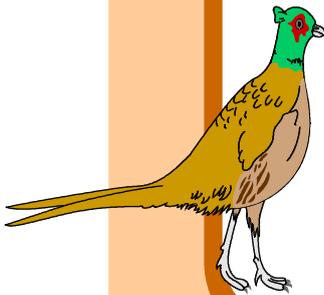
令和4年度

事業実績報告書（報告）



社会福祉法人 秀峯会

介護老人福祉施設きじの里  
通所介護事業所きじの里  
通所介護事業所清風  
訪問介護事業所きじの里  
グループホームきじの里  
グループホーム清風  
居宅介護支援事業所きじの里  
五島市在宅介護支援センターきじの里  
特定旅客自動車運送事業所きじの里  
障害者自立支援事業所きじの里



〒853-0311

長崎県五島市岐宿町二本楠375番地

TEL0959-83-1246.1244 FAX0959-83-1247

<http://syuhoukai.jp/>

e-mail [kijinosato@syuhoukai.jp](mailto:kijinosato@syuhoukai.jp)

# 目 次

I	介護老人福祉施設きじの里の経営	1
	1. 介護老人福祉施設	1
	2. 短期入所生活介護	2
	3. 行事実施内容	3
	4. 職員研修	4
	4. 1 施設外研修	4
	4. 2 施設内研修	5
II	通所介護事業所きじの里の経営	5
	1. 基本方針	5
	2. サービス内容	6
	3. 事業実施内容	6
	4. 日課表	6
	5. 利用者状況	6
	6. 行事実施内容	8
III	通所介護事業所清風の経営	8
	1. 基本方針	8
	2. サービス内容	9
	3. 事業実施内容	9
	4. 日課表	9
	5. 利用者状況	9
	6. 行事実施内容	10
IV	訪問介護・介護予防訪問介護事業所きじの里の経営	11
	1. サービス内容（訪問介護）	11
	2. サービス内容（介護予防訪問介護）	11
	3. 利用者の状況	12
	4. 利用状況の推移	12
V	グループホームきじの里の経営	13
	1. 利用状況	13
	2. 年間行事実績	14
	3. 施設内研修	15
VI	グループホーム清風の経営	16
	1. 利用状況	16
	2. 年間行事実績	17
	3. 施設内研修	18
VII	居宅介護支援事業所きじの里の経営	18
	1. 要介護度別利用状況	18
	2. 給付管理表の提出状況	19
	3. 予防給付プラン・総合支援プラン作成件数	19
VIII	五島市在宅介護支援センターきじの里の経営	20
	1. 事業実績累計	20
	2. 実態把握件数	20
IX	介護報酬の状況	20
X	事故、ヒヤリ・ハット発生状況	21
XI	生計困難者対策実施状況	25
XII	生計困難者レスキュー事業実施状況	25

# I 介護老人福祉施設きじの里の経営

## 1. 介護老人福祉施設

令和4年度中における各月1日現在の入所者数を表1に示す。表2及び図1に、令和5年3月31日現在（今後特に表記がない場合、示された数値は全て令和5年3月31日現在のもの）の地区別入所者数を示す。

表3に入所者の年齢分布及び入所期間を示す。80才以上が90%、平均入所期間は3年7ヶ月である。

また、入院日数は延べ270日、稼働率は98%であった。

表1 月別入退所者数の状況

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月延 べ人数
		入所	退所	
令和4年 4月	50	1	2	51
令和4年 5月	49	2	1	51
令和4年 6月	50	2	2	52
令和4年 7月	50	0	0	50
令和4年 8月	50	3	4	53
令和4年 9月	49	1	1	50
令和4年10月	49	1	0	50
令和4年11月	50	0	0	50
令和4年12月	50	0	0	50
令和5年 1月	50	0	0	50
令和5年 2月	50	1	1	51
令和5年 3月	50	1	1	51

表2 地区別入所者の状況

地区	男性	女性	入所者数
旧福江市	3	11	14
岐宿町	5	18	23
玉之浦町	1	5	6
富江町	1	2	3
三井楽町	0	4	4
奈留町	0	0	0

図1 地区別入所者数  
タイトル

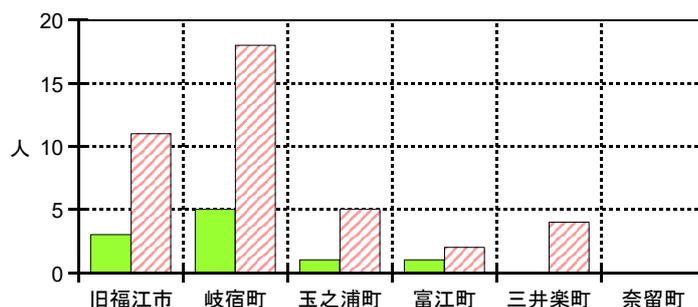


表3 入所者の年齢分布及び入所期間

年齢区分 (歳)	性 別	人 数	入所期間			
			6ヶ月未満	6ヶ月～ 1年未満	1年以上 5年未満	5年以上
～64	男	0				
	女	0				
65～69	男	1				1
	女	1				1
70～79	男	2	1		1	
	女	1		1		
80～	男	7	2		4	1
	女	38		7	19	12
合計		50	3	8	24	15

平均年齢 男性 83.1才  
女性 88.5才  
平均 87.4才

平均入所期間 男性 2年 8ヶ月  
女性 3年 10ヶ月  
平均 3年 7ヶ月

表4及び図2に令和5年3月末の入所者の介護度を示す

要介護1 : 6%  
 要介護2 : 4%  
 要介護3 : 28%  
 要介護4 : 34%  
 要介護5 : 28%

平均介護度 3.74

表4 入所者の要介護度

区分	男	女	計
要介護1	0	3	3
要介護2	2	0	2
要介護3	4	10	14
要介護4	1	16	17
要介護5	3	11	14
合計	10	40	50

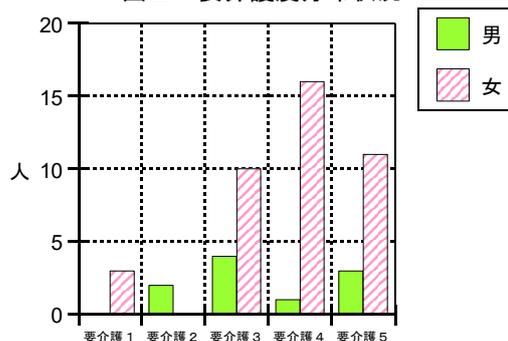
<認知区分状況>

自立 : 2名 (4%)  
 (I)時々あり : 8名 (16%)  
 (II)ややあり : 6名 (12%)  
 (III)やや多い : 22名 (44%)  
 (IV)非常に多い : 12名 (24%)  
 (M)重度 : 0名 (0%)

68%

平均介護度は3.74、要介護3以上の利用者が90%を占めている。また、嚥下困難で、経管栄養を行っているご利用様様が1名入所している。

図2 要介護度分布状況



## 2. 短期入所生活介護

表5 短期入所月別利用者数の状況

表5に短期入所生活介護事業(ショートステイ)月別利用者数の状況を示す。

前年度は延べ2,849日の利用であったが、令和4年度は2,943日と94日増、稼働率は80%であった。

1日平均8人、平均介護度は2.9となっている。

	延べ日数			当該月実利用者数	障害者自立支援ショート延べ日数
	介護保険	私的契約	合計		
4月	244	9	253	16	0
5月	251	16	267	13	0
6月	251	16	267	14	0
7月	262	12	274	14	0
8月	207	16	223	11	0
9月	175	5	180	11	0
10月	211	9	220	17	0
11月	233	6	239	17	0
12月	261	17	278	17	0
1月	236	14	250	11	0
2月	210	8	218	12	0
3月	269	5	274	13	0
合計	2810	133	2943	166	0

表6 介護度別ショートステイ利用者延べ日数

予防ショート	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
92	343	559	1,072	763	114	2,943

経管(鼻腔)栄養者 : 0名

### 3. 行事実施内容

表7に令和4年度中に実施した行事等を示す。感染状況を見ながらバスハイクを実施したり各ユニット毎に誕生会を実施した。ご家族や地域の皆様との交流ができなかったため、施設内でご利用者様と職員だけで縁日を行った。

火災の防止と万一の災害（地震、風水害）発生に備えて、夜間と昼間を想定した総合避難訓練をそれぞれ1回（計2回）、さらに消火器、屋内消火栓を用いた消火訓練を1回実施した。

表7 令和4年度年間行事実施表

月	行事計画	日	実 施	月	行事計画	日	実 施
4	花見 誕生会	3	桜見物	11	誕生会	8	誕生会
		10	バスハイク				
		20	誕生会				
5	入所者健康診断 母の日 誕生会		入所者健康診断 (血液検査)	12	大掃除 クリスマス 忘年会	13	誕生会
		8	母の日茶話会			13	岐中花の苗プレゼント
		14	誕生会			25	クリスマス会
		28	門松作り 餅つき				
6	父の日	7	バスハイク	1	新年祝賀会 鏡開き 誕生会	1	初詣
		18	誕生会			13	書き初め
		19	父の日茶話会			30	誕生会 入所者健康診断
7	誕生会	7	七夕祭り	2	節分・豆まき 誕生会	3	節分・豆まき
		13	バスハイク			17	南高フェリッパプレゼント
		16	流しそうめん			22	誕生会
8	誕生会	7	縁日	3	ひな祭り 誕生会	3	ひな祭り
		9	誕生会			9	誕生会
9	誕生会 敬老祝賀会	10	敬老会	3	ひな祭り 誕生会	15	避難訓練 (夜間想定)
		24	バスハイク				
		21	避難訓練(昼間想定)				
		27	誕生会				
10	誕生会	11	誕生会				
			ワックスかけ				

#### 4. 職員研修

##### 4. 1 施設外研修

令和4年度中における施設外研修の実施状況を表8に示す。本年度も新型コロナウイルス感染症予防のため施設内でのWEB研修がほとんどであった。

表8 職員の研修実施状況（施設外）

部署・人数	職種	実施日	場所	内容
特養1名	介護職	4月7日	WEB研修	新入社員研修会
特養3名	介護職	5月26日	WEB研修	ADL維持等加算対応バーセルインテックス研修
特養1名	介護職	5月28日	WEB研修	長崎県介護支援専門員協会主催研修
特養2名	事務職	6月2日	長崎市	会計ソフト導入研修
特養1名	施設長	6月2日	長崎市	会計ソフト導入研修
特養1名	事務職	6月13日	長崎市	会計ソフト導入研修
特養3名	介護職	6月15日	長崎市	「ノリフティングケアセミナー2022」プログラム
特養1名	看護職	7月7日	WEB研修	高齢者施設における新型コロナウイルス感染症発生に備えた対応等説明会
特養1名	施設長	8月1日	長崎市	給与ソフト導入研修
特養1名	看護職	8月4日	WEB研修	感染防止対策研修会
特養1名	介護職	8月9日	長崎市	会計ソフト導入研修
特養1名	施設長	8月23日	長崎市	給与ソフト導入研修
特養2名	看護職	9月1日	WEB研修	感染防止対策研修会
特養3名	看護職	9月7日	WEB研修	感染防止対策研修会
特養1名	介護職	9月14日	長崎市	会計ソフト導入研修
特養3名	看護職	9月15日	WEB研修	感染防止対策研修会
特養9名	介護職	9月30日	WEB研修	「初めてのDO-CAPシート書き方研修」
特養2名	介護職	10月5日	WEB研修	「第27回E式合同考課者研修」
特養1名	介護職	10月11日	長崎市	介護ロボット地域フォーラムin長崎
特養5名	介護職	10月11日～10月25日	WEBセミナー	「介護事故防止・介護トラブルにならないための知識」
特養1名	施設長	10月18日	長崎市	給与ソフト導入研修
特養2名	介護職	10月25日	WEB研修	服薬マニュアルの見える化
特養1名	施設長	11月1日～2日	福岡県	ケアテックス福岡'22
特養1名	相談員	11月15日	WEB研修	「苦情対応への知識と技術」
特養3名	介護職	11月22日	WEB研修	「共友事業事例発表会」
特養7名	介護職	12月9日～12月23日	WEBセミナー	まったく新しい誤えん事故防止対策
特養2名	介護職	12月15日	WEB研修	「ノリフティングケア・モデル事業所報告会」
特養1名	施設長	12月21日	長崎市	給与ソフト導入研修
特養1名	介護職	3月8日～3月10日	長崎市	ユニットリーダー研修
特養1名	施設長	3月14日	長崎市	令和4年度長崎県老協総会

##### 4. 2 施設内研修

サービス向上に不可欠な職員の資質向上、及び施設経営理念の理解のため各種研修会を開催した。さらに、参加した各種研修会に関する報告会を開催し、新しいサービス内容、技術習得のための内部研修を実施した。これらの結果を表9に示す。

表9 施設内研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会・内容	参加者
7月25日・7月29日 ＜到達度勉強会＞	＜オムツ交換について＞ ・目的を確認し基本手順をしっかりと身につける (モデルを使つての実技指導)	計34名

8月3日 ＜感染症、食中毒予防研修＞	＜感染症、食中毒予防について＞ ・新型コロナ感染症とその他感染症の対策について ・食中毒予防と手洗いの実技指導	計31名
9月28日 ＜リスク勉強会＞	＜災害時の対応について＞ ・緊急時対応について（非常食試食など）	計24名
10月3日 ＜研究発表会＞	＜研究発表＞ ・各セクション（特養、看護、デイ）ごとに課題を決めそれについて研究し その成果を発表する。	計27名
11月5日 ＜接遇勉強会＞	＜接遇勉強会＞ ・言葉使いの基本、接遇対応について学ぶ	計26名
11月14日・11月16日 ＜到達度勉強会＞	＜入浴介助について＞ ・入浴介助の手順について（実技指導） ・入浴介助時の注意点について	計28名
12月10日、15日 ＜リスク勉強会＞	＜事故防止の為のポイント＞ ・ヒヤリハットの重要性について学ぶ	計33名
12月10日、15日 ＜身体拘束、虐待防止研修＞	＜身体拘束廃止、虐待防止について＞ ・身体拘束の3原則、緊急やむを得ない場合の対応 ・虐待の基本的理解、不適切ケアについて学ぶ	計33名
12月20日、23日 ＜感染症研修＞	＜感染症予防について＞ ・感染症の予防、まん延防止について（嘔吐物処理実技） ・新型コロナ感染症について（症状、重症化リスク、感染経路）	計38名
2月27日・3月1日 ＜到達度勉強会＞	＜移乗、移動について＞ ・身体レベルに合わせた移乗介助について（実技指導）	計26名
3月13日、14日 ＜服薬支援、看取り研修＞	＜看取り、誤薬防止について＞ ・介護施設での看取りについて ・誤薬防止への取り組み	計26名
3月13日、14日 ＜接遇研修＞	＜介護施設での接遇について＞ ・接遇マナーの基本、身だしなみについて	計26名
3月30日 ＜研究発表会＞	＜研究発表＞ ・各セクション毎が課題について研究しその成果を発表する	計21名

## Ⅱ 通所介護事業所きじの里の経営

### 1. 基本方針

要介護状態等となった場合においても、その利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行い、心身機能の維持、向上に資するよう事業を実施した。

### 2. サービスの内容

①利用日は日曜日・年始3日を除き、毎日実施

①利用定員は1日18名

（おおむね要介護認定者8名、通所A6型 8名、通所A7型 2名）

③利用料は利用内容により一割の自己負担、A7型は800円/回

④パワーリハビリテーション

パワーリハビリ器具を使用して機能訓練実施、ストレッチ体操、ボール運動を実施。

⑤レクリエーション活動

輪投げ、ゲート通しリレー、ビンゴゲーム、バスハイク

⑥クラブ活動

手工芸、ちぎり絵、カラオケ、ハンドベル

3. 事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供

- 1) 送迎 専用車で送迎
- 2) 健康状態の確認 血圧、体重、全身状態の観察と、健康管理指導
- 3) 食事 カロリー、栄養などを計算した献立に基づく温かい食事の提供
- 4) 入浴 一般浴、特殊浴を実施
- 5) 介護 移動や排泄の介助、見守り等のサービス
- 6) 機能訓練 機能訓練指導員の指導の下に、個別的に日常生活動作の訓練を実施
- 7) 生活相談 利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
- 5) その他日常生活に必要なサービス

4. 日課表

8:00	9:00		12:00	13:30		15:30	16:30	
専用車にて迎え	健康チェック	機能訓練・脳トレ 入浴 マッサージ機器	昼食	休憩	創作活動 機能訓練 クラブ活動	ストレッチ体操 ホール体操	レクリエーション おやつ 休憩	専用車にて送り

5. 利用者状況

表10、11に令和3年度、令和4年度要介護度別通所介護利用者数を示す。

利用延べ人数では、前年度より474名の減少、1日当たりの平均利用者数は14.1人に減少した。コロナ感染症予防の為、家族等島外や県外から来島した場合には1週間休んでいただく等の対策をし予防出来たが、1月の特養クラスター発生時には気にされる利用者が多く減少した。また、週5回利用される利用者が3名、施設入所等で中止となり大幅に減少した。新年度も感染対策を行い、施設内での発生を予防しながら営業していく。

表10 令和3年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	20	19	24	23	22	22	22	26	23	20	21	26	268
総合事業1	94	84	81	77	71	79	80	71	78	70	75	83	943
総合事業2	120	122	116	121	102	116	124	125	104	106	109	111	1,376
要介護1	116	128	127	113	102	138	122	133	101	68	79	99	1,326
2	23	24	44	43	26	24	29	35	38	39	35	41	401
3	13	18	18	24	12	8	9	11	17	13	13	13	169
4	34	37	37	34	29	27	8	17	23	13	14	16	289
5	0	0	0	0	0	12	13	13	12	4	15	18	87
合計	420	432	447	435	364	426	407	431	396	333	361	407	4,859
営業日	26	26	26	27	26	26	27	25	27	24	24	27	311

1日平均利用者数 15.6人

表 1 1 令和 4 年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	23	18	22	17	16	16	21	18	13	9	16	17	206
総合事業 1	70	88	102	114	91	81	98	99	93	68	91	108	1,103
総合事業 2	105	106	96	115	82	87	101	76	74	59	67	69	1,037
要介護 1	85	96	93	98	75	93	106	143	135	83	115	112	1,234
2	39	36	16	16	12	14	0	2	0	3	4	14	156
3	15	16	14	14	17	11	0	0	0	3	9	14	113
4	17	20	22	23	16	21	34	35	33	27	32	37	317
5	15	10	21	24	26	19	27	26	15	5	13	18	219
合計	369	390	386	421	335	342	387	399	363	257	347	389	4,385
営業日	26	26	26	26	27	25	26	26	27	24	24	27	310

1日平均利用者数 14.1人

通所介護利用者延べ人数推移

H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
5,226	4,429	4,465	4,747	5,126	4,595	4,859	4,385

(H28年度から制度改正のため減)

表 1 2 地区別通所介護利用登録者数

(通所介護・総合事業利用数含む)

居住地・性別	男	女	合計
岐 宿	3	1	4
河 務	1	1	2
川 原	1	4	5
白 石	0	1	1
楠 原	0	4	4
松 山	1	3	4
居 川	1	1	2
寺 脇	0	4	4
坂 の 上	0	1	1
城	0	4	4
南 部	0	0	0
柿ノ木場	2	1	3
二本楠	1	12	13
荒 川	2	2	4
幾久山	2	2	4
丹 奈	1	0	1
合計	15	41	56

	最高	最低	平均
男	96	72	86.7
女	97	72	86.2
全体平均			86.3歳

## 6. 行事实施内容

表 1 3 行事实施内容

	計 画	実 施		計 画	実 施
4月	バスハイク 誕生会 折り紙	花見（繁敷・魚津ヶ崎）	10月	バスハイク ハンドベル 誕生会	（大浜・三井楽） 誕生会
5月	折り紙 誕生会 バスハイク	ブロック折り紙	11月	文化祭 折り紙 誕生会	岐宿町文化祭見学 毛糸作品（絵馬） 誕生会
6月	運動会 バスハイク 誕生会	紫陽花花見（6～11）	12月	忘年会・誕生会 足湯	誕生忘年会・ゲーム大会 （19～24）
7月	誕生会 折り紙	誕生会	1月	新年会 福笑い 誕生会	毛糸作品（ひなまつり） 福笑い（4～7） 誕生会
8月	納涼祭 バスハイク 誕生会	誕生会	2月	節 分 誕生会	豆まき 誕生会
9月	誕生会 避難訓練	誕生会 作品作り（毛糸作品） 避難訓練	3月	雛 祭 り 避難訓練 誕生会 ・ 花見	桜・奈の花花見（23～27） 避難訓練 誕生会

・誕生会を毎月行い、なるべく誕生日当日か近い利用日にお祝いし喜んで頂けた。  
また感染対策を実施しながらバスハイクや初詣等にも出かけ、施設内のレクリエーションを毎週変更して、利用者に楽しんで頂いた。

## Ⅲ 通所介護事業所 清風の経営

### 1. 基本方針

要介護状態等となった場合においても、利用者が可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行い、心身機能の維持・向上に資するよう事業を実施した。

介護予防対象者については、日常生活において自立した生活が維持できるよう、レクリエーション活動やクラブ活動を通じて、要介護状態への進行を防止するとともに、運動器による機能向上を機能訓練指導員の指導の下実施し、体力の維持向上に資するよう事業を実施した。

### 2. サービスの内容

- ①利用日は土、日、年始3日を除き、毎日実施
- ②利用定員は10名（おおむね要介護認定者6名、通所A6型 3名、通所A7型1名）
- ③利用料は利用内容により一割の自己負担、A7型 800円/回
- ④機能訓練  
筋力増強運動及び平行棒、ボール運動、プーリー等の各種器具を使用しての機能訓練を実施
- ⑤レクリエーション活動  
輪投げ、お手玉ボーリング、室内ペタンク、脳トレ（頭の体操）、棒体操、バスハイク
- ⑥クラブ活動  
手工芸、カラオケ、折り紙、貼り絵など

### 3. 事業実施内容

各個人の通所介護計画に基づき、下記のサービスを提供

- 1) 送迎 専用車で送迎
- 2) 健康状態の確認 血圧、体重、全身状態の観察と、健康管理指導
- 3) 食事 カロリー、栄養などを考慮した暖かい食事の提供
- 4) 入浴 一般浴、特殊浴を実施
- 5) 介護 移動や排泄の介助、見守り等のサービス
- 6) 機能訓練 機能訓練指導員の指導の下に、個別に日常生活動作の訓練を実施
- 7) 生活相談 利用者の生活や心身機能についての相談、援助等
- 8) その他日常生活に必要なサービス

### 4. 日課表

8:00	9:00	12:00	13:30	15:00	15:40				
専用車にて迎え	健康チェック 機能訓練 入浴	マツサ 入浴	嚙下 体操	昼休憩 食憩	マツサ 機能訓練 ボク ブル 運動	ク ラ ブ 活 動	レ ク リ エ ー シ ョ ン	おやつ 休憩	専用車にて送り

### 5. 利用者状況

表14、15に令和3年度、令和4年度の要介護度別通所介護利用者数を示す。3年度と比較して130名の減少になっている。4年度は、利用回数の多い利用者の入院、施設入所とコロナ感染症対策による利用制限もあり減少になっている。介護認定の利用者数は前年度に比べて94名ではあるが増加になっている。新規利用者様の獲得の為に、サービス内容、接遇面の改善を図りながら、利用者様から選ばれるようなデイサービスを目指して業務に取り組んでいく。

表14 令和3年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	34	32	36	33	24	28	24	24	24	20	17	17	313
総合事業1	24	12	20	25	15	19	18	21	17	18	16	13	218
総合事業2	21	19	17	21	12	17	15	14	13	13	15	17	194
要介護1	90	98	101	99	97	99	108	112	129	109	119	116	1,277
2	20	16	18	15	15	17	17	17	19	15	14	24	207
3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
4	0	0	0	0	0	8	8	9	7	2	4	0	38
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5
合計	191	177	192	193	163	188	190	197	209	177	188	189	2,254
営業日	22	21	22	22	22	22	21	22	23	20	20	23	260

1日平均利用者数 8.6人

表 1 5 令和 4 年度 要介護度別通所介護利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
A7型	9	7	9	8	9	8	7	7	8	8	8	10	98
総合事業 1	8	9	11	14	14	14	16	13	11	6	3	7	126
総合事業 2	19	28	22	25	24	21	26	28	19	18	23	24	277
要介護 1	91	106	86	88	95	94	87	88	80	77	82	92	1,066
2	44	46	54	53	48	34	35	44	37	44	32	44	515
3	0	0	0	0	1	13	12	5	4	1	0	0	36
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
合計	171	196	182	188	191	184	183	185	159	154	154	177	2,124
営業日	21	22	22	21	23	22	21	22	22	20	20	23	259

1日平均利用者数 8.2人

表 1 6 地区別通所介護利用登録者数

居住地 性別	男	女	合計
大荒町		2	2
三尾野町		1	1
上大津町		1	1
下大津町		1	1
木場町		3	3
籠淵町		1	1
岐宿町		1	1
紺屋町		1	1
松山町		2	2
東浜町		1	1
池田町		1	1
武家屋敷		4	4
坂の上		1	1
幸町		1	1
吉久木町		1	1
吉田町		1	1
福江町		1	1
合計		24	24

	最高	最低	平均
男			
女	97	78	85
全体平均	85歳		

今後は、利用者の地域範囲を拡張して、包括、各居宅事業所との情報交換をこまめに行って介護認定の利用者数の増加に繋がるように職員一丸となって業務に取り組んでいく。

## 6. 行事实施内容

表 1 7 行事实施内容

	計 画	実 施		計 画	実 施
4 月	花見 菜の花見学 買い物ツアー	花見（奥浦） 菜の花（魚津ヶ崎） 買い物（エレナ）	10月	コスモ見学 買い物ツアー	コスモス（大津） 買い物（エレナ）

5月	バスハイク 手工芸 かたか	(富江) ちぎり絵 かたか、	11月	バスハイク 手工芸 買い物ツアー	中止 紙粘土、折り鶴 バリュー
6月	紫陽花見学 七夕飾り作り 手工芸 誕生会	紫陽花見学(8日) 七夕飾り作り お手玉作り 誕生会(20日~24日)	12月	誕生会 買い物ツアー クリスマス会	誕生会(19日~21日) 買い物(コスモス) クリスマス(24日)
7月	七夕祭り バスハイク 買い物	七夕祭り(7日) 三井楽 バリュー	1月	新年会 手工芸 買い物ツアー お菓子作り	初詣(4日) パズル 買い物(エレナ) たこ焼き
8月	手工芸 バスハイク	折り紙 香珠子 かき氷	2月	節分 手工芸 バスハイク	節分(3日) 貼り絵、塗り絵 奥浦(河津桜見学)
9月	誕生会 避難訓練 手工芸 バスハイク	誕生会(26日~28日) 消防・避難訓練 貼り絵 銚瀬公園	3月	雛祭り 誕生会 避難訓練 バスハイク 買い物ツアー	誕生会(27日~29日) 避難訓練(24日) (銚瀬) 買い物(シティー)

## IV 訪問介護・介護予防訪問介護事業所きじの里の経営

### 1. サービス内容(訪問介護)

- ①利用日は、日曜日以外の毎日
- ②サービス提供時間帯は(平常の時間帯)午前9時~午後5時
- ③利用料はそれぞれのサービスについて介護報酬の1割が自己負担
- ④サービスの概要
  - (1)身体介護・・・入浴介助、排泄介助、食事介助、体位交換、通院介助等
  - (2)生活援助・・・調理、洗濯、掃除、買い物等
  - (3)通院等乗降介助・・・通院時に事業所のヘルパーが病院まで同行、車への乗り降りや屋内外における移動の介助、受診の手続きなどを行う。

### 2. サービス内容(介護予防訪問介護)

- ①利用日は、日曜日以外
- ②サービスの概要  
自立支援の観点から、利用者が出来る限り自ら家事等を行うことができるように支援することを目的としてして援助する。(調理・洗濯・掃除・買い物・薬の受け取り代行)
- ③利用料はそれぞれのサービスについて介護報酬の1割が自己負担

### 3. 利用者の状況

表18 利用者介護度状況（令和4年度利用者）

介護度	総合事業	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
実人員	18	5	2	0	0	0	24

表19 月別利用者数（令和4年度）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護	4	4	4	5	4	5	6	6	6	4	4	5	57
総合事業	17	18	18	18	16	16	16	15	14	14	13	13	188
合計	21	22	22	23	20	21	22	21	20	18	17	17	244

\* 3年度1月あたり平均人数21人  
 → 4年度1月あたり平均人数20人

### 4. 利用状況の推移

①サービス種類別ヘルパー稼働時間（単位 ○時間：○分）

表20 訪問介護の月別稼働時間の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身介	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	1:00	0:00	0:00	0:00
身生	0:00	0:00	0:00	2:00	3:00	4:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	9:00
生活	28:00	29:00	27:00	30:00	23:00	30:00	40:00	37:00	31:00	15:00	22:00	30:00	342:00
通院	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
計	28:00	29:00	27:00	32:00	26:00	34:00	40:00	37:00	31:00	15:00	22:00	30:00	351:00

表21 介護予防訪問介護・総合事業訪問介護の月別稼働時間推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問Ⅰ	18:00	22:00	20:00	23:00	20:00	22:00	20:00	22:00	21:00	19:00	21:00	20:00	248:00
訪問Ⅱ	55:00	74:50	55:00	59:00	46:00	47:00	47:00	42:10	37:00	28:00	31:00	36:00	558:00
訪問A3	9:00	9:15	9:45	7:30	4:30	6:00	6:00	6:00	6:45	6:00	3:00	3:45	77:30
計	82:00	106:05	84:45	89:30	70:30	75:00	73:00	70:10	64:45	53:00	55:00	59:45	883:30

\* 3年度：1月あたり平均稼働時間107時間 1日あたり平均稼働時間：4.1時間  
 → 4年度：1月あたり平均稼働時間102時間 1日あたり平均稼働時間：3時間

表22 ヘルパー月間延べ利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身生	0	0	0	2	3	4	0	0	0	0	0	0	9
生活	28	29	27	30	23	30	40	37	31	15	22	30	342
通院乗降	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合事業	85	87	88	92	72	77	75	72	67	55	71	84	925
計	113	116	115	124	98	111	115	109	98	70	93	114	1276

\* 3年度1月あたり平均利用回数 107回 1日あたり平均利用回数：4.1回  
 → 4年度1月あたり平均利用回数 106回 1日あたり平均利用回数：4回

表23 特定旅客自動車運送事業月間延べ利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問介護													0
総合事業 護	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	6

\* 3年度特定旅客自動車運送事業の年間利用回数は 16回、1月あたり平均 1.3回  
 → 4年度特定旅客自動車運送事業の年間利用回数は 6回、1月あたり平均 0.5回

表 2 4 介護保険外ヘルパー自費利用月間延べ回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自費2時間													0
院内介助30分													0

(職員配置2.5以上で時間内であれば援助可能：1時間2000円)

令和4年度は要介護度の新規利用者が3件あったが、退所は6件（施設入所2件、転居1件、死亡1件、自立等2件）とご利用者様の減少の方が多かった。

特定旅客自動車運送事業については、町内で「チョイソコ」のタクシー利用者が増え、病院までの送迎希望者等の顧客ニーズは減ってきている。運営を続けるには新規利用者の獲得が必要である。

## V グループホームきじの里の経営

表 2 5 月別入退所者数の状況

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月 延べ人数
		入所	退所	
令和4年 4月	9	0	0	9
令和4年 5月	9	0	0	9
令和4年 6月	9	0	0	9
令和4年 7月	9	0	0	9
令和4年 8月	9	0	0	9
令和4年 9月	9	0	0	9
令和4年10月	9	0	0	9
令和4年11月	9	1	1	10
令和4年12月	9	0	0	9
令和5年 1月	9	0	0	9
令和5年 2月	9	0	0	9
令和5年 3月	9	0	0	9

### 1. 利用状況

令和4年度中における各月1日現在の入所者数を表25に示す。

表26に、令和5年3月31日現在の地区別入所者数を示す。岐宿町7名、三井楽町1名、大阪市1名、旧福江市、玉之浦町、奈留町、富江町からの利用が無い。今後、利用のない町の居宅介護支援事業所への情報提供を積極的に行う必要がある。

稼働率は、99.8%、

平均介護度は2.7

平均年齢は89.8歳であった。

表 2 6 地区別入所者の状況

地区	男性	女性	入所
旧福江市	0	0	0
岐宿町	2	5	7
玉之浦町	0	0	0
三井楽町	1	0	1
大阪市	0	1	1
合計	3	6	9

表 2 7 入所者の要介護度

区分	男	女	計
要介護1	2	3	5
要介護2	0	0	0
要介護3	1	0	1
要介護4	0	2	2
要介護5	0	1	1
合計	3	6	9

表27に、令和5年3月末日におけるグループホーム利用者の介護度を示す。

表28、表29に令和3年度、令和4年度介護度別の延べ人数を示す。延べ利用人数では令和3年度と比較すると72人の増となった。ご利用者様の健康管理に努め、医療機関との連携を強化することにより、疾病の悪化や進行を防ぐことが出来た。入所については、待機者の担当ケアマネジャーと連携し早期の入所を心掛けた。

表 28 令和3年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	90	83	77	69	62	90	93	113	124	124	112	124	1161
要介護2	90	93	89	107	124	79	93	90	93	93	84	93	1128
要介護3	60	62	50	62	62	60	61	30	31	31	28	31	568
要介護4	18	30	29	31	31	30	31	30	31	31	28	31	351
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	258	268	245	269	279	259	278	263	279	279	252	279	3,208

表 29 令和4年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	120	124	120	124	123	120	124	141	155	155	140	155	1601
要介護2	60	62	30	31	31	30	0	0	0	0	0	0	244
要介護3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護4	60	62	90	93	93	90	93	65	62	62	56	62	888
要介護5	0	0	0	0	0	0	31	30	31	31	28	31	182
計	270	279	270	279	278	270	279	266	279	279	252	279	3,280

## 2. 年間行事実績

表30に令和4年度中に実施した行事等を示す。住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう常にご利用者の心身の状況を把握して、心穏やかに安心して過ごせるようサービスの提供に務めた。

コロナ禍の影響で社会参加はほとんどできない状況であったが、個別のニーズを把握してドライブや買い物代行など支援を行った。また、残存機能を活かした生活リハビリを継続し、ご利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活が送れるよう個別ケアに努めた。

年2回の防火訓練を実施し、3月の訓練では夜勤者を主体とした夜間避難訓練を行い職員の防災意識の向上を図った。

表 30 令和4年度行事実施状況

月	行事計画	日	実施	月	行事計画	日	実施
4月	花見：バスハイク	1	ツワ引き、ドライブ	10月	コスモス見物	7	散髪、ケーキ作り
	誕生会	4	夏野菜苗植え		冬野菜苗植え	31	誕生会、野菜苗植え
	夏野菜苗植え	11	誕生会		誕生会		
		16	出張散髪				
5月	母の日	7	母の日昼食会	11月	運営推進会議	7	花苗植え
	運営推進会議	22	ふるさと巡り		バスハイク	12	誕生会
	あじさい見学	27	運営推進会議		誕生会	27	運営推進会議
6月	父の日	20	父の日昼食会	12月	クリスマス昼食会	21	出張散髪
	芋の苗植え	27	出張散髪		そば作り	24	クリスマス会
	バスハイク	28	バスハイク			30	そば作り、すす払い
7月	七夕昼食会	7	七夕昼食会	1月	新年祝賀会	1	新年会
	出張散髪	13	野菜の収穫		初詣	3	初詣
	運営推進会議	21	運営推進会議		七草がゆ	7	七草
		30	ドライブ		運営推進会議	12	ぜんざい会
縁日						16	誕生会
						28	運営推進会議
		4	運営推進会議	節分	3	節分豆まき	

8月	墓参り おやつ作り	8 10	かき氷作り 出張散髪	2月	おやつ作り 誕生会	14 25	バレンタインデー-お茶会 誕生会
9月	敬老会 おやつ作り 運営推進会 議 避難訓練	6 21 23 21 24	ぼた餅作り 敬老会 ふるさと巡り 避難訓練 運営推進会議	3月	雛祭り 運営推進会 議 誕生会 避難訓練	3 3 15 28	雛祭り昼食会 誕生会 避難訓練 運営推進会議

\* 回診は2週間に1回。訪問看護は毎週水曜日。個別のニーズを把握しその都度、自宅への外泊・外出、美容院への外出、買い物など、自立した生活が送れるよう支援した。

### 3. 施設内研修

知識と技術向上のための内部研修を実施した。職員のレベルアップに取り組みご利用者の変化に迅速に対応できるように、介護のプロとしてケアサービスの質の向上や、自己啓発に取り組んだ。

表3-1 令和4年度施設内研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会・内容	参加者
4月10日 〈倫理と法令遵守〉	・倫理と法令遵守に関する研修	計7名
5月11日 〈身体拘束について〉	・身体拘束廃止、高齢者虐待防止、プライバシー保護に関する研修	計7名
6月10日 〈接遇について〉	・接遇とマナーに関する研修	計7名
7月10日 〈服薬について〉	・服薬支援に関する研修	計7名
8月8日 〈リスク管理について〉	・事故発生予防、再発防止に関する研修	計7名
9月9日 〈身体拘束廃止について〉	・身体拘束廃止に関する研修	計7名
10月21日 〈避難訓練〉	・火災等災害対応に関する研修（避難訓練・昼間想定）	計7名
11月9日 〈クレーム対応について〉	・困難事例、クレーム対応に関する研修	計7名
12月10日 〈認知症ケアについて〉	・認知症ケアに関する研修	計7名
1月15日 〈感染症予防について〉	・感染症及び食中毒予防に関する研修	計6名
2月10日 〈緊急時対応について〉	・緊急時の対応に関する研修	計6名
3月23日 〈避難訓練〉	・災害時の避難、救出等に関する訓練（夜間想定）	計6名

## V グループホーム清風の経営

表 4 2 月別入退所者数の状況

	1日現在 入所者数	月内の異動		当該月 延べ人数
		入所	退所	
令和 4年4月	9	0	0	9
令和 4年5月	9	0	1	9
令和 4年6月	8	1	0	9
令和 4年7月	9	0	1	9
令和 4年8月	8	1	1	9
令和 4年9月	8	1	0	9
令和 4年10月	9	0	0	9
令和 4年11月	9	0	0	9
令和 4年12月	9	1	1	10
令和 5年1月	9	0	0	9
令和 5年2月	9	0	0	9
令和 5年3月	9	0	0	9

### 1. 利用状況

令和4年度中における各月1日現在の入所者数を表42に示す。

表43に、令和5年3月31日現在の地区別の利用状況を示す。旧福江地区在住の利用者が6名。岐宿地区が2名。富江地区が1名。今後、利用のない町の居宅介護支援事業所への情報提供を積極的に行う必要がある。稼働率は、95.3%、平均介護度は3.6、平均年齢は84歳であった。

表 4 3 地区別入所者の状況

地 区	男性	女性	入所者数
旧福江市	0	6	6
岐宿町	0	2	2
富江町	0	1	1
玉之浦町	0	0	0
合 計	0	9	9

表 4 4 入所者の要介護度

区 分	男	女	計
要介護1	0	2	2
要介護2	0	3	3
要介護3	0	3	3
要介護4	0	1	1
要介護5	0	0	0
合 計	0	9	9

表44に、令和5年3月末日におけるグループホーム利用者の介護度を示す。

表45、表46に令和3年度、令和4年度の介護度別の延べ人数を示す。延べ人数では、3年度と比較すると死亡退所者、入院による退所数が増加したため、116日の減となった。要介護度1の利用者が増え平均介護度が下がった為、収入減をなった。今後は、医療機関や訪問看護ステーションとの連携をさらに深め、利用者様の体調管理や急変時の適切な対応に努める。また、重度の利用者様の受け入れを積極的に行い稼働率の向上を目指す。

表 4 5 令和3年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護1	0	0	0	0	0	12	31	30	42	62	56	62	295
要介護2	30	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	700
要介護3	60	62	60	62	62	60	62	90	93	93	84	93	881
要介護4	180	155	150	155	155	126	124	77	70	62	56	62	1372
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	270	279	270	279	279	258	279	257	267	279	252	279	3248

表 4 6 令和 4 年度要介護度別延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護 1	60	62	80	93	78	82	93	90	93	62	56	62	911
要介護 2	48	62	60	42	60	60	62	60	68	93	84	93	792
要介護 3	90	65	60	62	62	60	62	51	60	93	84	93	842
要介護 4	60	62	60	62	52	60	61	40	40	31	28	31	587
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	258	251	260	259	252	262	278	241	261	279	252	279	3132

## 2. 年間行事实績

表 4 7 に令和 4 年度中に実施した行事等を示す。ご利用者のニーズの把握に努め落ち着いて過ごせる環境作りを最優先とし、精神状態の安定を図った。また自立した日常生活が送れるよう、それぞれのペースにあわせ残存機能を活かした家事作業や活動に取り組んだ。今後も家庭的な雰囲気の中で、心穏やかに楽しく暮らせる環境作りを目指す。

表 4 7 令和 4 年度事実施状況

月	行事計画	実 施	月	行事計画	実 施
4月	菜の花見学 誕生会	鬼岳ドライブ (4/5) 誕生日昼食会 (4/16)	10月	衣替え 誕生会	衣替え (10/1) 誕生会 (10/15)
5月	母の日 運営推進会議	母の日昼食会 (5/8) 運営推進会議 (5/26)	11月	芋掘り 誕生会 運営推進会議	花壇の芋掘り (11/2) 誕生会 (11/22) 運営推進会議 (11/26)
6月	父の日 野菜の植付け	父の日昼食会 (6/18) 芋苗植え付け (6/23)	12月	冬至 クリスマス 大掃除	ゆず湯 (12/22) クリスマス昼食会 (12/24) すす払い (12/30)
7月	七夕昼食会 おやつ作り 運営推進会議	七夕昼食会 (7/7) かき氷作り (7/15) 運営推進会議 (7/25)	1月	お年賀：誕生会 外部評価 運営推進会議	お年賀昼食会 (1/1) 外部評価 (1/24) 運営推進会議 (1/20)
8月	誕生会	誕生日昼食会 (8/5)	2月	節分 誕生会	豆まき (2/3) 誕生会 (2/15)
9月	敬老会 運営推進会議 避難訓練	敬老会 (9/19) 運営推進会議 (9/23) 避難訓練：夜間想定 (9/26)	3月	雛祭り：誕生会 避難訓練 花見	雛祭り昼食会 (3/3) 避難訓練：昼間想定 (3/24) 運営推進会議 (3/25) 花見ドライブ (3/31)

\* 往診は月に 1 回。訪問看護は毎週月曜日。個別のニーズに合わせ、外出、買い物など残存機能を活かし自立した生活が送れるように支援した。

## 3. 施設内研修

統一したケアを目標に内部研修を実施した。グループホーム職員としての知識、技術を職員全員が学び資質の向上に努めた。新型コロナウイルス感染症予防についても県や市からの情報や通達を確認し対応しながら予防に努めた。あらゆる状況に迅速に対応出来るよう、関係機関との連携を図りご利用者の体調管理や急変時の適切な対応に努めた。

表 4 8 令和 4 年度施設内外研修会・勉強会の開催状況

開催日	研修会内容	参加者
4月18日〈倫理と法令遵守〉	・倫理、法令遵守について	計6名
5月24日〈接遇〉	・接遇とマナーについて	計6名
6月10日〈身体拘束〉	・身体拘束等の取り組みに関する研修について	計6名
7月19日〈緊急時対応〉	・誤嚥事故防止について	計7名
8月10日〈感染症について〉	・感染症、食中毒の防止について	計7名
10月 7日〈災害時の対応について〉	・防災訓練、自然災害時の対応について	計6名
11月10日〈看取りについて〉	・グループホームでの看取りについて	計6名
12月14日〈認知症について〉	・認知症高齢者への接し方	計7名
1月15日〈身体拘束について〉	・身体拘束の3原則について	計7名
2月15日〈虐待防止について〉	・虐待の基本的理解について	計7名
3月23日〈避難訓練〉	・災害時の避難、救出などについて	計7名

## VII 居宅介護支援事業所きじの里の経営

### 1. 要介護度別利用状況

要介護認定者、総合支援事業による認定者を含め全体の登録者数は減少している。ケアマネ1名体制であり、年度半ばで予防利用者を包括に移管実施したことで全体の登録件数は減っているが、介護給付の利用者件数は年度末で比較すると増えている。入所、死亡、転出による減少がある一方で更新や区分変更にて要支援から要介護へ介護度が上がるケースが10件、新規紹介10件があり全体での要介護者の割合が70%となっている。新規の依頼ルートとしては行政、包括が多く次いで家族からの相談であった。一方で長期入院の受け入れ困難で早期退院を促され短期入所利用により利用開始となるケースは少なかった。年齢で見ると約7割の利用者様が85歳を超えている。

表 3 9 利用者の要介護度別登録者

	男	女	合計
事業対象者	1	2	3
要支援1	1	3	4
要支援2	4	7	11
要介護1	7	18	25
要介護2	1	4	5
要介護3	1	5	6
要介護4	2	2	4
要介護5	2	1	3
合計	19	42	61

表 4 0 年齢別利用者数

区分	男	女	計
65～69	1	1	2
70～74	1	1	2
75～79	0	1	1
80～84	5	4	9
85～89	5	17	22
90～94	3	12	15
95～	3	7	10
合計	18	43	61

## 2. 給付管理表の提出状況

令和4年度の前半は令和3年度後半からの入所や逝去の影響から給付件数が減少していたが令和4年度後半に件数が持ち直し気味となり、40件台/月に増加している。市や包括からの介護給付の新規10件、予防給付から介護給付への移行が10件発生している。新規利用者のうち健康状態の悪化によるレベル低下11件、転倒骨折4、認知症状の悪化3件、退院による在宅サービス利用による受託が2件、結果、給付管理件数は平均で令和3年度37件/月、令和4年度は36.5件/月となっている。

表4-1 給付管理表の提出状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27年	28	31	29	30	30	29	30	31	28	27	27	29	349
H28年	28	30	31	31	29	27	27	30	31	32	33	31	360
H29年	28	27	27	30	32	34	31	27	32	33	33	39	373
H30年	37	32	31	33	32	29	24	24	30	25	29	27	353
R元年	31	34	32	32	29	31	30	33	32	33	32	36	385
R2年	37	37	41	37	34	39	42	42	41	40	42	40	472
R3年	38	42	41	38	37	36	39	41	39	36	32	36	455
R4年	32	33	30	32	33	35	38	39	42	42	40	42	438

## 3. 予防給付プラン・総合支援事業プラン作成件数

令和4年度もケアマネ1名体制であり件数負担を軽減するため、予防給付の利用者を五島市包括支援センターに11件の移管を実施済み。施設入所1件などがあり件数が減少している。逆に予防給付から要介護への移行件数は10件の実績であった。

表4-2 予防プラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27年	44	43	44	46	46	50	43	40	40	34	31	28	489
H28年	26	24	22	17	14	13	11	11	12	13	12	14	189
H29年	12	15	15	13	14	11	11	12	14	13	14	13	157
H30年	13	16	14	14	14	15	16	17	15	15	15	15	179
R元年	14	13	14	14	14	14	12	13	14	13	14	13	162
R2年	14	14	14	13	14	18	16	16	15	12	12	12	170
R3年	11	11	11	10	11	10	11	12	11	9	11	11	129
R4年	12	12	13	11	11	10	8	7	5	5	6	7	107

表4-3 総合支援事業プラン作成状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27年							5	8	10	15	23	30	91
H28年	42	48	50	54	54	55	55	55	60	56	55	56	640
H29年	63	59	58	56	56	58	58	58	57	58	60	59	700
H30年	58	56	56	58	58	55	58	57	56	54	53	54	673
R元年	57	55	50	51	49	50	49	43	45	42	40	54	568

R 2 年	36	36	37	38	37	34	38	38	38	36	38	40	446
R 3 年	38	38	38	37	36	38	36	23	22	24	22	22	374
R 4 年	22	22	22	15	13	13	15	12	11	11	11	8	175

## Ⅷ 五島市在宅介護支援センターきじの里の経営

### 1. 事業実績累計

表 4 4 に相談件数を示す。

表 4 4 相談受付件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電 話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪 問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 2. 実態把握件数

配食サービスに関しては、前年件 1 5 に対して 1 6 件の実績であった。新規配食の依頼は 3 件あり、既存利用者も施設入所や転居、状況回復、訪問介護やデイなどのサービス利用により必要性が無くなり中止になるケースが多い。

7 月、1 月に既存配食サービス利用者の状況確認を実施するなかでも上記理由により件数が減っている。利用の傾向として独居の男性や女性は身体能力の低下により利用を開始されている。

土地柄からか高齢でも野菜などを作り食材を工夫しながら調理を行っている人が多く、配食サービスに頼る人が少ない傾向であるため町内の利用者が伸びていないと思われる。

表 4 5 実態把握件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
配 食	1	0	0	6	0	1	0	1	4	3	0	0	16
計	1	0	0	6	0	1	0	1	4	3	0	0	16

## Ⅸ 介護報酬の状況

表 4 6 に令和 4 年度における特別養護老人ホーム（入所事業・短期入所事業・ヘルパ<sup>®</sup>-事業・居宅介護支援）、デイサービスセンター、在宅介護支援センター、認知症対応型共同生活介護事業の収入状況を示す。

特養全体の収入は 3 0 0, 3 2 8 千円で前年度（2 9 5, 7 5 6 千円）と比較して 4, 5 7 2 千円の収入増となった。特養については、感染症補助金、物価高騰補助金、ベースアップ加算等で増収となった。居宅介護支援事業では、介護支援専門員が一人体制となったことで要支援・事業対象者の担当を市へ変更したため収入減となった。デイサービスきじの里では、重度利用者が減った為、収入減、グループホーム清風では、平均介護度が下がり軽度の利用者が増えたため収入減となっている。

表 4 6 事業別収支状況（単位：千円）

	特別養護老人ホーム						デイサービスきじの里			在宅介護支援センター	グループホームきじの里	グループホーム清風	デイ清風
	介護老人福祉施設	短期入所生活介護	訪問介護	居宅支援	支援費ショート	合計	地域密着・型通所	総合支援事業	合計				
4年	250,767	38,090	4,626	6,845	0	300,328	19,963	12,580	32,543	328	37,451	35,219	17,227
3年	246,212	36,975	4,610	7,959	0	295,756	21,446	13,413	34,859	340	35,891	36,996	17,410
増減	4,555	1,115	16	△1,115	0	4,572	△1,483	△833	△2,316	△12	1,560	△1,777	△183

2年	244,144	35,144	4,853	8,557	0	292,698	15,935	14,880	30,815	368	36,374	36,569	13,978
31年	234,990	26,521	4,688	7,800	28	274,027	16,656	15,585	32,241	364	35,469	35,529	14,654
30年	235,422	30,563	4,597	7,728	0	278,310	13,112	15,684	28,796	385	34,787	33,115	14,741
29年	230,768	33,326	4,506	7,980	0	276,580	13,628	14,415	28,043	372	34,962	33,545	14,397
28年	229,039	33,072	4,484	7,887	0	274,482	28,622	2,201	30,823	355	33,374	32,975	16,777

## X-1 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（きじの里）

### 1. 事故発生状況

表 4 7 に令和 4 年度中における事故発生件数を示す。令和 3 年度の 136 件に対して 155 件で、19 件の増加となっている。主な事故は外傷 44 件（前年度 48 件）で全体の 28%、滑落 35 件（前年度 23 件）23%、転倒は 31 件（前年度 11 件）20%となっている。骨折は 5 件（前年 2 件）、誤薬 9 件（前年度 14 件）となっている。

誤薬の内訳は、飲ませ忘れが 6 件、誤った薬を服薬が 3 件であった。原因は、職員の確認不足と見られ基本に戻りマニュアルの周知徹底を行っていった結果、12 月以降は誤薬はゼロとなっている。骨折は 5 件（前年度 2 件）で 1 件は介助中で他の 4 件は自力で動いた為の骨折で、眠りスキャンの活用が上手くなされていないことが原因と見られる。

令和 5 年度は、骨折の事故及び誤薬がないように、眠りスキャンの活用や服薬マニュアルの見直し、徹底を行い事故を減らす取り組みを実施していく。

表 4 7 事故報告件数（特養きじの里）

事故	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
														合計	
骨折	介助中						1						1	5	
	自力	1						1	1	1			4		
	不明												0		
外傷	介助中	5	4	2	3	1	6	2		1	1	2	1	28	44
	自力		1	2		1			2				1	7	
	不明	1		2	2			1	2				1	9	
打撲	介助中												0	3	
	自力					1							1		
	不明			1					1				2		
転倒	トイレ使用中	1		1									2	31	
	居室	1	2	1	1	1	2	1	1	4	6	1	1		22
	車椅子からの立ち上がり										1		1		
	廊下・ホール	2	1					1	1	1			6		
椅子													0		

転落	車椅子											1	1	5	
	ベッド		1	1		1					1		4		
滑落	椅子		2					1					3	35	
	車椅子	2			1		1	1	1	1	1	7			
	ベッド		3	5	1	3	1	3	3	2	3	1	25		
経管バルーン 抜去	介助中		1			3	2				1		7	8	
	自力								1				1		
火傷	介助中												0	0	
	自力												0		
異食	食べられない物を口に入れた												0	0	
誤嚥	物をのどに詰まらせた	1				2		1				1	5	5	
誤薬	誤った薬を服薬		1	1				1					3	9	
	服薬後落ちていた												0		
	飲ませ忘れ	2			1		1	2					6		
外出	敷地外まで外出						1						1	1	
その他	車両破損、トラブル	1	1	2				1	2	1	1		9	9	
合計		17	17	18	9	13	13	12	18	11	14	6	7	155	155

## 2. ヒヤリ・ハット報告状況

表48にヒヤリ・ハット報告状況を示す。令和4年度のヒヤリハット総計は224件（前年245件）で月平均18.6件であった。内訳は危険行動38件（前年度64件）、滑落43件（前年度57件）、転倒35件（前年度52件）であった。

見守りの徹底及び見守り機器（眠りスキャン）の導入数の増加の効果が表れている。

表48 ヒヤリハット報告件数（特養きじの里）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
トラブル	利用者同士の暴力・暴言										1			1	1
転倒	転倒しそうになる	7	4		5	5		11	5	3	2	5	4	51	54
	転倒したが外傷なし	1									1		1	3	
転落	転落しそうになる		2	6	5	3		3		2	2		2	25	26
	転落したが外傷なし						1	4	1		1	2	1	1	
滑落	滑落しそうになる	2	3	3	5	2	7	4	1	2	4		2	34	43
	滑落したが外傷なし	2	1	1	1	1	3	2	3		1			9	
危険行動	自立歩行困難者が歩行した	5	2	4	2	4	8	5	7	3	4	4	2	29	38
	〃 立ち上がろうとした		1	3					1		2	2	1	9	
異食	害にならない物を口にし、はき出した													3	5
	〃 口にいれようとした	1	1	1	1	2								2	
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた								1					0	0
外出	敷地内外出						1							6	6
車事故	利用者乗車中の事故、外傷無													0	0
その他	ブレーキかけ忘れ	9	4	5	5	11	2	3	3	5	6	5	4	51	51
合計		27	18	16	27	26	7	28	23	10	22	14	11	224	224

## X-2 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（GHきじの里）

### 1. 事故発生状況

表49に令和4年度中における事故発生件数を示す。令和4年度は13件の事故が報告されている。ご利用者様の心身の状態を把握し、職員間の情報共有を図りながら、安全管理に対する考え方を再認識し業務にあたる事が必要である。また、事故を未然に防ぐ取り組みを強化し介護技術の向上を図るよう取り組んで行く。

表49 事故報告件数（GHきじの里）

事 故		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
骨折	介助中													0	0
	自力													0	
	不明													0	
外傷	介助中										1			1	3
	自力			1										1	
	不明											1		1	
打撲	介助中													0	1
	自力													0	
	不明							1						1	
転倒	トイレ使用中													0	2
	居室			1										1	
	車椅子からのた立ち上がり													0	
	廊下・ホール	1												1	
滑落	椅子													0	5
	車いす													0	
	ベッド	1	1	1	1							1		5	
誤薬	誤った薬を服薬													0	0
経管バルーン抜去	介助中													0	0
	自力													0	
誤嚥	食べ物を喉に詰まらせた	1					1								2
合 計		3	2	2	1	1	0	0	1	0	1	1	1	13	13

### 2. ヒヤリ・ハット報告状況

表50にヒヤリ・ハット報告状況を示す。令和4年度は12件のヒヤリ・ハット報告が提出された。主なヒヤリハットは危険行動であった。

発生状況から時間帯や発生場所などを分析した結果、同じ時間帯や精神状態に変化がみられる状況での発生が多い。職員1人1人が事例を十分理解し、ご利用者様の精神面、環境の変化による行動の変化を十分把握し支援を行うことが重要である。

また、職員間の連携と情報の共有化を図り事故を未然に防止できるように取り組んで行く。

表50 ヒヤリハット報告件数（GHきじの里）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
トラブル	利用者同士の暴力・暴言													0	0
転倒	転倒しそうになる													0	0
転落	転落しそうになる													0	0
滑落	滑落しそうになる													0	0
危険行動	自立歩行困難者が歩行した				1	1	6		2		1	1		12	

	〃 立ち上がろうとした													0	12
異食	害にならない物を口にし、はき出した													0	
	〃 口にいれようとした													0	0
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた													0	0
	外に出ようとした													0	0
その他	ブレーキかけ忘れ、その他													0	0
	合 計	0	0	1	1	6	0	2	0	1	1	0	0	12	12

## X-3 事故、ヒヤリ・ハット発生状況（GH清風）

### 1. 事故発生状況

表49に令和4年度中における事故発生件数を示す。4年度は4件の事故が報告されている。日頃のご利用者様の心身の状態を把握し、職員間の情報共有を図りながら、安全管理に努め

表49 事故報告件数（GH清風）

事 故		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
骨折	介助中														
	自力	1								1				2	2
	不明														
外傷	介助中									1				1	
	自力														1
	不明														
打撲	介助中														
	自力														
	不明														
転倒	介助中														
	自力														
	不明														
転落	椅子														
	真椅子														
	ベッド														
誤薬	誤った薬を服薬														
誤嚥	物を喉に詰まらせた														
経管バル ン抜去	介助中	1												1	1
	自力														
合 計		2							2					4	4

### 2. ヒヤリ・ハット報告状況

表50にヒヤリ・ハット報告状況を示す。令和4年度は報告件数45件。危険行動が16件と最も多く、同じ利用者様のヒヤリハットが目立っている。その中でも危険行動と車椅子からの滑落が多く見られた。転倒事故に繋がる事も予測されるため、今後も職員のスキルアップを図り職員間で情報を共有し事故防止に繋げていくよう努めていきたい。

表50 ヒヤリハット報告状況（GH清風）

ヒヤリハット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11	12	1月	2月	3月	合 計	
転倒	転倒したが外傷なし									1				1	
	転倒しそうになる		1		1		1			1		1		5	6

転落	転落しそうになる			1		1				1			3		
	転落したが外傷なし					1							1	4	
滑落	滑落しそうになる			2			1						3		
	滑落したが外傷なし		1	3	1			1	1			1	8	11	
危険行動	歩行困難者が歩行した	3	1	1	2	1		1		1		1	11		
	“立ち上がろうとした、膝折れ										1		1		
	ベッド上での危険行動	1	1	1		1							4		
	外へ出ようとしていた													16	
異食	無害な物を口に入れ、吐き出した	1				1							2		
	“口にいれようとした				1								1	3	
誤配	薬を誤配し、飲む前に気づいた									1					
トラブル	利用者同士のトラブル														
その他	ブレーキかけ忘れ		1		2			1			1		5	5	
合 計		5	5	8	7	5	2	3	1	3	3	2	1	45	45

## X I 生計困難者対策実施状況

社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度における、令和4年度の減免実績（減免した延べ人数、施設が負担した額）を表53に示す。

本年度の施設サービスにおける減免対象者は延べ338人、減免額は4,778,910円であった。また、居宅サービスにおける減免対象者は延べ19人、減免額は251,104円であった。きじの里全体では、減免対象者は延べ357人、減免額は5,030,014円であった。

表53 利用料減免額（単位：円）

きじの里	のべ人数	1割負担分	食費	居住費	不明	負担額合計
施設サービス	338	656,404	1,046,398	3,076,108		4,778,910
居宅サービス	19	58,668	92,575	99,861		251,104
合 計	357	715,072	1,138,973	3,175,969	0	5,030,014

## X II 生計困難者レスキュー事業実施状況

平成28年8月から社会福祉法人の新たな地域貢献として「生計困難者レスキュー事業」が開始された。長崎県内の社会福祉法人が参加。資金を拠出して基金を創設し、生計困難者に対して生活保護費支給や給与支払いなどで生活の目処が付くまでの一定期間、食料品、日用品の現物支給、光熱費等の支払いを無償で行っている。

令和4年度「きじの里」では相談は1件あった。相談事例の対象者は、コロナの給付金で年金までまかなえた為、金額の支援は不要であった。

表54 令和4年度レスキュー事業実施状況（単位：円）

	光熱費	給油	合 計	支援理由
事例1				
合 計				

